



志木二小だより

平成30年12月号

志木市立志木第二小学校
埼玉県志木市館1丁目2番1号
TEL 472-0540

////// 学校教育目標 **進んで学ぶ子 心の豊かな子 体をきたえる子** ////

児童数	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	たんぽぽ	11/21現在	昨年同時期
	97	72	80	84	101	88	13	535名	528名



「あたためてるつもりが、あたためられている」 ～心の相互作用～

校長 齋地 満

先日、参加した研修会で、心温まる話を聴く機会がありましたので紹介します。

転職を繰り返してきた女性は、小さいスーパーで働き始めますが、レジの仕事に不満を感じていました。母からの勧めもあり、帰郷しようと荷造りをしていたのですが、古い日記を見つけ、ピアニストを夢見ていた少女時代を思い出し、もう少し頑張ることを決意すると、仕事ぶりが変わりました。レジ打ちをマスターし、余裕ができるようになってくると、お客さんとの会話が楽しくなってきたのです。時には、おすすめのアドバイスも……。ある日、店は混雑しており、女性はいつものようにお客さんと会話をしながらレジ打ちに追われていました。ふと見回すと自分のレジだけお客さんがたくさん並んでいるではありませんか。店長が駆け寄ってきて、「恐れ要りますが、空いているレジへお回りください。」と言ったその時、一人のお客さんが、「ここでいいの。私は買い物に来ているんじゃないの。あの人としゃべりに来ているのよ。」と言いました。その言葉を聞いた女性は、その場で泣き崩れました。

女性はきっと、お客さんに少しでも、気持ちよく買い物をしてもらいたいと考え、話しかけていたのでしょう。その思いが伝わり、今度はお客さんから、自分が必要とされていることに気づき、胸が熱くなったのだと思います。

最近、好きなCMがあります。某缶コーヒーのCM「日本の冬はあたたかい」篇です。タクシードライバーを演じる山田孝之さんの「冬が好きだ。寒そうなお客さんをあたたためてあげられるから。」というセリフで始まります。その後、自分の仕事が誰かの心や体をあたたため、その誰かの仕事も別の誰かをあたたためていきます。やがて、誰かをあたたためてあげたいという思いが、山田さんにもつながり、「あれ、あたためるつもりが、あたためられている。」というセリフで終わります。誰かをあたためているつもりが、いつの間にか自分があたためられていたことに気づき、幸せな気持ちになる山田さんの表情は、さすが演技派といわれるだけあり、見ているこちらまで、心があたたまります。

「作用・反作用の法則」というものがあります。二つの物A, Bがあり、AからBに力が働く時には、必ずBからAにも力が働いているというものです。(例：台車に乗った人が、壁を押すと、押した力と逆方向に台車が動く)この物理学の法則は、「心」にも当てはまるのではないのでしょうか。相手を大切にすることは、自分にも大切なものを気づかせてくれる「心の相互作用」が働くのだと思います。

朝、子どもたちと交わすあいさつも、年度当初より「心の相互作用」が働いていると感じています。これからが、冬本番です。「志木二小の冬はあたたかい」となりますように。